

## 第2回災害対策プレゼンテーション

AMG 災害対策ワーキンググループでは、各施設における災害対策に関する取り組み事例をプレゼンテーション形式で報告会を行っており、第2回が11月に開催され当院の取り組みを紹介させて頂きました。

今回ご報告させて頂いた内容は当院にて定期的実施している、患者参加型避難訓練の実施内容と結果についてです。

今年度の内容としては、停電により透析装置が動作不能になることを想定して患者自身で血液ポンプを手動で回転してもらうことを目標としました。

併せて当院の停電時マニュアルの説明や訓練後のアンケート調査の報告も行いました。

報告会では他施設での取り組みやご意見を頂戴する機会もあり大変貴重な経験となりました。今回の訓練で挙げた課題を次回の訓練に改善させ、職員、患者共に災害への意識を高めて行きたいと思えます。

船橋総合病院 原田 康平 東京電子専門学校出身

船橋総合病院

災害WG  
災害対策プレゼンテーション

船橋総合病院  
ME科 原田 康平

### なぜ患者が回すのか??

各タール患者が30名ほどいて、対応できるスタッフが10名ほどしかない  
⇒ 1スタッフあたり3名の患者に対応する必要がある

※今回想定する訓練…バッテリーが駆動しなかったことを想定したため、  
1名のスタッフが順番に1名ずつ対応する必要がある

返血待ちをしている患者…ポンプが停止したまま待ってもらう事になる  
⇒ 回路内凝固してしまう

返血の順番が来るまで、  
患者自身でポンプを手動で回してもらえれば、凝固しないのでは?との結論

### 訓練の様子

① 訓練全体の様子

② 機械室確認の様子

③ 手動操作訓練の様子

④ 手動操作訓練の様子